

2022年5月22日 午後浦臼町営野球場にて

北海道独立リーグ奈井江・空知ストレーツの試合が始まりました。

三本奈井江町長から中空知地区のかかわりの中で奈井江・空知ストレーツのホーム球場としてこの浦臼町営球場を使用すること。

説明ののち始球式ありゲームが開始されました。選手は20名です。

浦臼は札幌から約1時間半国道275線上にある小さな町ですが、鶴沼公園や温泉キャンプもできるちょっとした休憩もできる町です。

またここには奈井江伝道所の指導教職大倉薫牧師が牧会する聖園教会があります。

聖園教会は1893年7月13日 武市安哉を指導者として信仰により理想の大地を招くために青年26名が高知県より来たところでもあります。

信仰と愛に満ちた理想の村になるように「聖園」と名付け、祈りをささげたとあります。

その時「祈りをささげた」と言われる所に立つとはるか130年近い年月を超えて祈りの声が聞こえてきます。



今年奈井江伝道所のペンテコステ礼拝は6月12日指導教職大倉薫牧師が来られた時に、大人と子供合同礼拝、礼拝後にペンテコステの集いとして「ブンブン鳩を飛ばそう」を致しました。

『教師の友』編集部csワイワイアイデア集を参考にして手作りの鳩を作りました。幼稚園みずほホールで簡単にすぐにでも飛ばせるかと思っていましたが意外と難しく、子ども達はそれぞれ工夫をして飛ばしました。



一番楽しかったのは工夫したことを「私的には！！」という言葉でどう工夫したかを教えてくれたことです。また色々な行事の後のお食事に奈井江町産トマトジュースを使用した「ハヤシライス」ですが今回はありません。ハヤシライスが食べたいなという声は嬉しい物でした。

奈井江町は毎年8月末にお祭りとして「産業まつり」をしています。

その時に食べた、米粉使用のピザや奈井江町名産のシイタケカレーもあります。

未来を願いつつ白球を無心に追う若者姿はかつての聖園の若者の姿に重なるようです。小さな町の大きな挑戦としての野球チーム招聘はとても嬉しいものです。